

過疎地域での保育園留学

FLP 地域・公共マネジメントプログラム
山崎ゼミ

A 生

岸 真侑加

中川 陽菜

目次

1. はじめに
2. 課題発見
3. 津山市の課題
4. 先行事例
5. 政策提言
6. 資金の運用
7. おわり

参考文献

1. はじめに

本報告書は、津山市が抱える社会的課題の発見およびその解決のための政策提言をとりまとめたものである。FLP 山崎ゼミでは「人口減少時代における地域創生」をテーマに研究している。そのなかで、私たちは、津山市の加茂地域に注目した。人口減少と空き家の増加がみられる。また、以前ヒアリングをした際に高齢化が進んでいるため、若者を入れたいことが分かる。短期的に外から人を呼ぶのではなく、若い家族に中長期滞在してもらうことで、関係人口の創出にもつながってくると考えた。そのため、空き家の活用を行いながら、他地域から人を流入する取り組みについて議論することは、津山市の抱えている課題解決に役立つのではないかと考えた。以下、サマースクールに関する調査活動等から得られた知見をもとに検討した研究内容および政策提言について報告する。

2. 課題発見

本研究が対象地域としている津山市についての現状分析を行った。以下、津山市の課題発見に至った経緯について報告する。

2.1. 津山市の現状分析

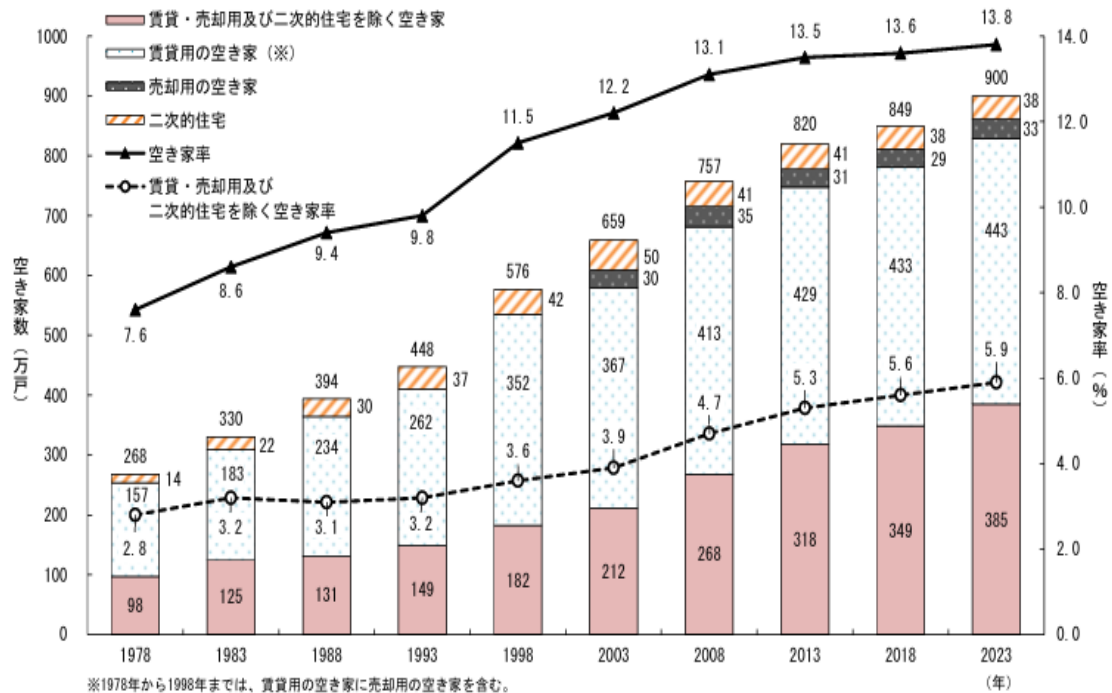
図表 1-1 津山市の人口推移



出典：都市データパック 2024 東洋経済 作成者：中川陽菜 岸真侑加

まず、津山市の人口の推移に着目する。図表 1-1 は 1990 年から 2025 年の人口推移を示したグラフである。津山市は人口が減少傾向にあり、2030 年以降もさらなる減少が進み、地域の過疎化が進行することが予想される。

図表 1-2 空き家数及び空き家率の推移-全国（1978 年～2023 年）

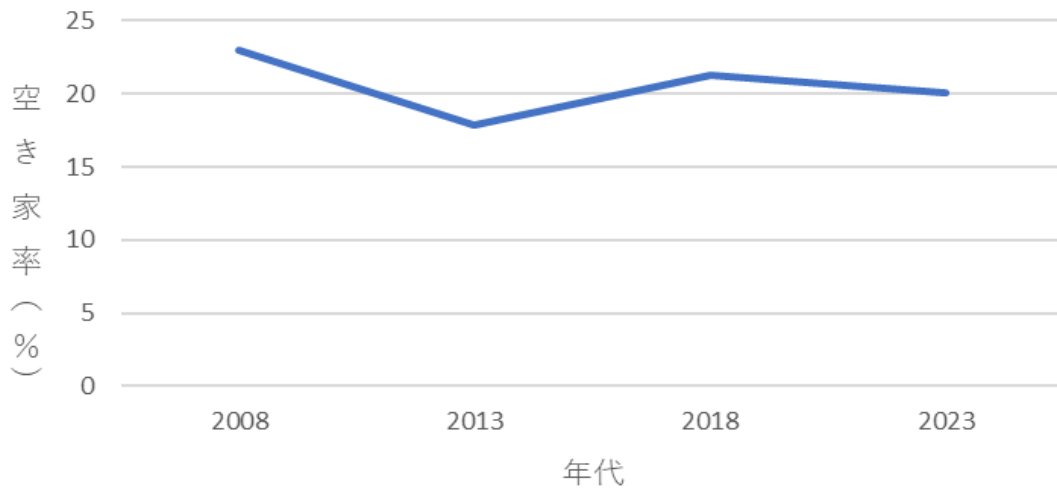


出典：総務省 報道資料

[令 5 年住宅・土地統計調査 住宅数概数集計（速報集計）結果](#)

また、図表 1-2 より、全国の空き家率は年々増加傾向にあり、都市データパックによると、2018 年の空き家率は 21.3%である。この津山市の空き家率は、全国の市・特別区を対象とした順位では 1741 位中 88 位と上位に位置していることがわかり、空き家増加の課題に取り組むべきである。

図表 1-3 津山市の空き家率



出典：政府統計の総合窓口

<https://www.estat.go.jp/regionalstatistics/ssdsview/municipality>

作成者：中川陽菜 岸真侑加

図表 1-3 は津山市に着目した空き家率のグラフである。5 年おきの推移を表し、空き家率が約 20%で横ばいである。2013 年度だけ 17.9%と低い数値で示されているが、こちらは市役所に確認したところ、建物を共有で持つ世帯や津山市に空き家をもっていない世帯がこの年の調査で抽出されてしまっていること、また回答数が少ないことが要因であることが明らかとなった。しかし、津山市全体の空き家率が増加傾向にあることには変わりはない。

図表 2-1 加茂地域の基本情報（2021 年 11 月 13 日）※2015 年度の空き家率

	人口 (人)	世帯数 (戸)	高齢者 (%)	空き家率※ (%)
新加茂地域	3,062	1,515	49.2	13. 8
上加茂地域	515	255	50.6	

出典：岡山県 津山市の人口及び世帯数（住民基本台帳による）

https://tsuyama-group.dataeye.jp/resource_download/9920

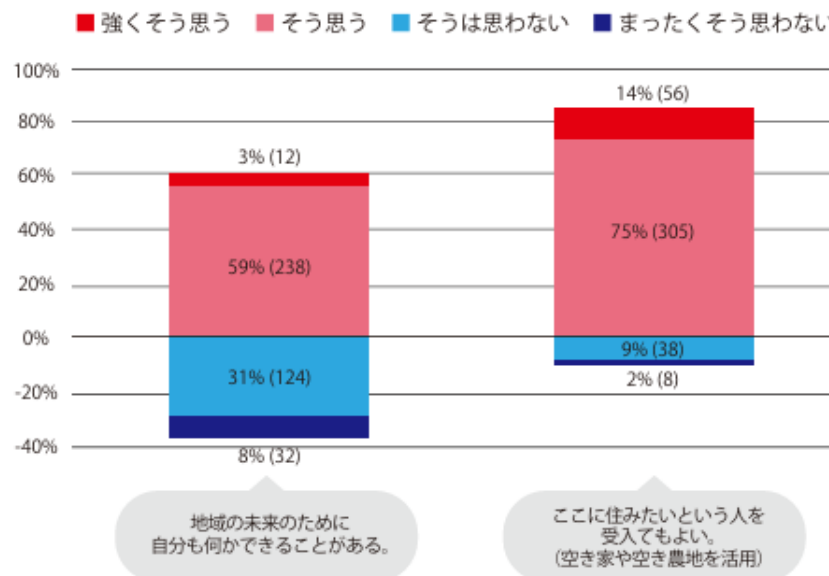
岡山県 おかやま元気！集落一覧

https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/725655_8642619_misc.pdf

作成者：岸真侑加 中川陽菜

図表 2-1 は加茂地域の基本データである。空き家率が 13. 8 %、人口減少や高齢化が進み地域の活力が低下していることが考察できる。また、加茂地域を選出した理由は、バーベキュー施設やおいしい水などがあり、ワーケーションに取り組めるポテンシャルが高く、過疎地域であるためである。

図表 2 - 2 アンケート回答の一部（これからの地域づくりに対しての考え）



出典：岡山県 市町村空き家対策モデル地区事

https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/820951_7743586_misc.pdf

図表 2-2 は津山市の住人を対象にした「これからの地域づくりに対しての考え」というアンケートの結果である。他地域の人々が流入することに肯定的な人は 9 割おり、また空き家の活用についての声が寄せられている。地域課題の掘り起こしから、空き家 増加をどのように解決していくかが課題となる。

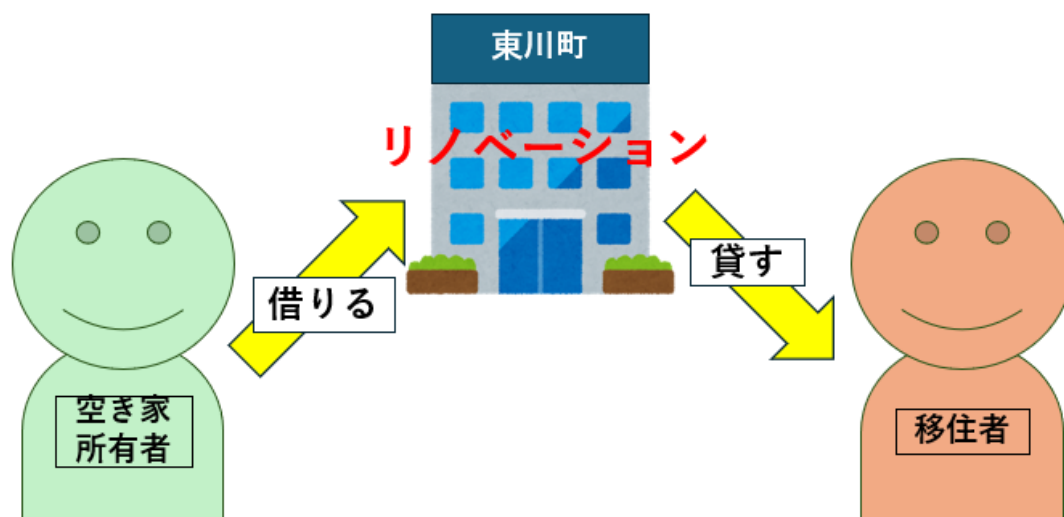
3. 津山市の課題

以上のことから、津山市は人口減少、空き家率の増加傾向がわかる。また、住民からも空き家活用や他地域からの人の流入に関して肯定的な意見もある。そのため、私たちは加茂地域に人々を呼び込み、地域の活性化を行っていこうと考えた。ここから、津山市全体に拡大させる方針だ。

4. 先行事例

ここからは空き家の活用と人口増加についての先行事例とワーケーションの取り組みを紹介する。

図表 4-1 中間管理住宅の仕組み



出典：NHK 移住体験用の住宅確保で東川町が導入の「中間管理住宅」とは
<https://www3.nhk.or.jp/sapporo-news/20240909/7000069716.html>

作成者：中川陽菜 岸真侑加

はじめに中間管理住宅について説明をする。北海道東川町の中間管理住宅制度である。空き家の所有者と移住者の間に町が入り、物件の管理を行う。町は所有者から空き家を十年間借りあげ、空き家のリノベーションなどを行い整備をする。そして移住希望者に二年間貸し出し、北海道への移住体験を提供する仕組みである。空き家所有者にとっては、本来多額な修繕費がかかることを自治体が負担してくれ、貸し出しの期間が終了したら綺麗な家が戻ってくるというメリットがあります。移住者にとっても、リノベーションされた綺麗なところに安い家賃で住むことができ、また移住への憧れと実際に移住することのギャップをなるべく少なくできます。東川町では約月に七万円、四万十市では約二万円で家を借りることができます。また市役所にとっても空き家を減らすことができるというメリットがある。そのため、中間管理住宅が空き家増加の課題解決の糸口となる。

図表 4 - 2 保育園留学利用動向

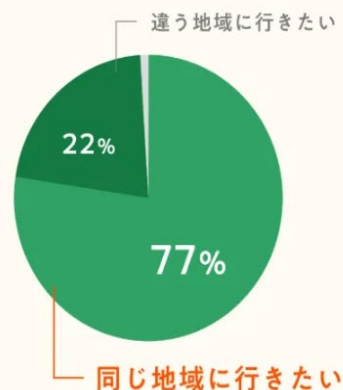
留学先

2024年6月現在
開始2年半で留学先が

約 **40** 地域へ



リピート希望率



利用者アンケートによる
リピート希望合計

99%

1年で同じ地域に**3回**
リピートするご家族も

<リピート希望の内訳>

2024年6月現在、過去1年間の利用者アンケート結果(N=138)

保育園留学白書2024

出典：キッチンハイク 保育園留学利用動向

<https://kitchhike.jp/news/6mVtD4VM>

次に保育園留学について説明をする。株式会社キッチンハイクでは地域と子育て家族をつなぎ未来をつくる留学プログラムとして保育園留学を行っている。保育園留学とは1～2週間こどもが普段と異なる保育園に通い、家族そろって一緒に多様な地域に滞在できる、こども主役の暮らし体験である。子ども一人、大人二人の場合、一週間留学するのにかかる費用は約12.1万円からとなっている。二週間であれば約17.8万円からである。北海道の厚沢部町（あっさぶちょう）からはじまり、今ではキッチンハイクと連携し保育園留学を行う自治体・官公庁は拡大しています。また2024年6月の利用者アンケートによると99%の割合の人がまた保育園留学をしたいという結果がみられた。また保育園留学を行うことは、子供の人間形成にプラスの効果を与えてくれます。保育園留学を利用した保育園児だけでなく、以前からその地域に住む保育園児にとっても多様な交流ができるというメリットがある。この保育園留学を利用が、津山市での関係人口の増加につながると推察する。

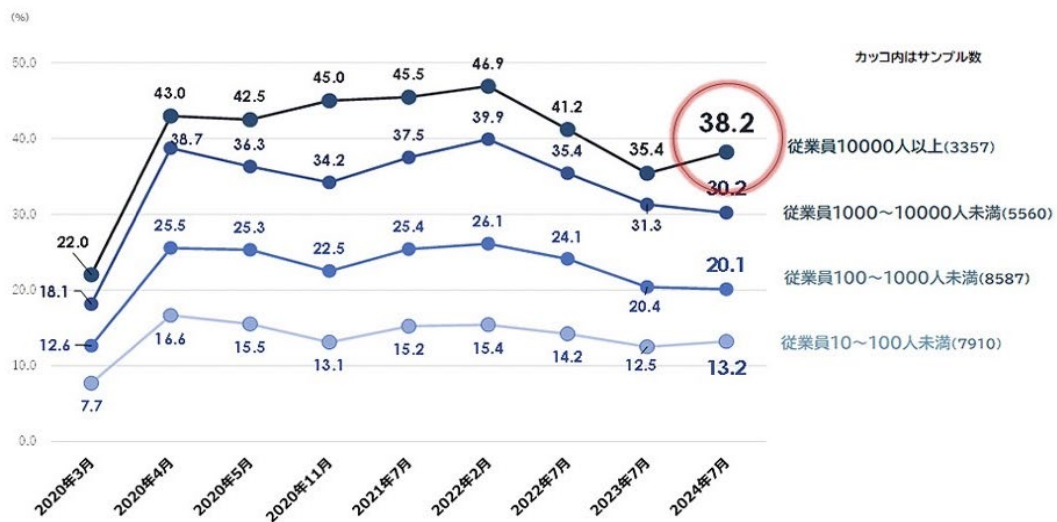
5. 政策提言

本章では、ワーケーション×保育園留学を提案する。中間管理住宅を津山市が担いワーケーションを求めている人々の誘致を行います。保育園留学と掛けあわせた理由として、子連れの家族にも気軽にワーケーションを行えるということが挙げられる。ワーケーションしている間、子供をどこに預けるのかという問題が浮き彫りとなる。しかしこの保育園留学を利用すれば、ワーケーション先でも子供を預けることができ、仕事にも集中することが可能である。

まずは、ワーケーション×保育園留学という提案に至った理由を4点説明する。

(1) 子連れでもワーケーションが可能

図表 5 - 1 企業規模別 テレワーク実施率の推移（正社員ベース）



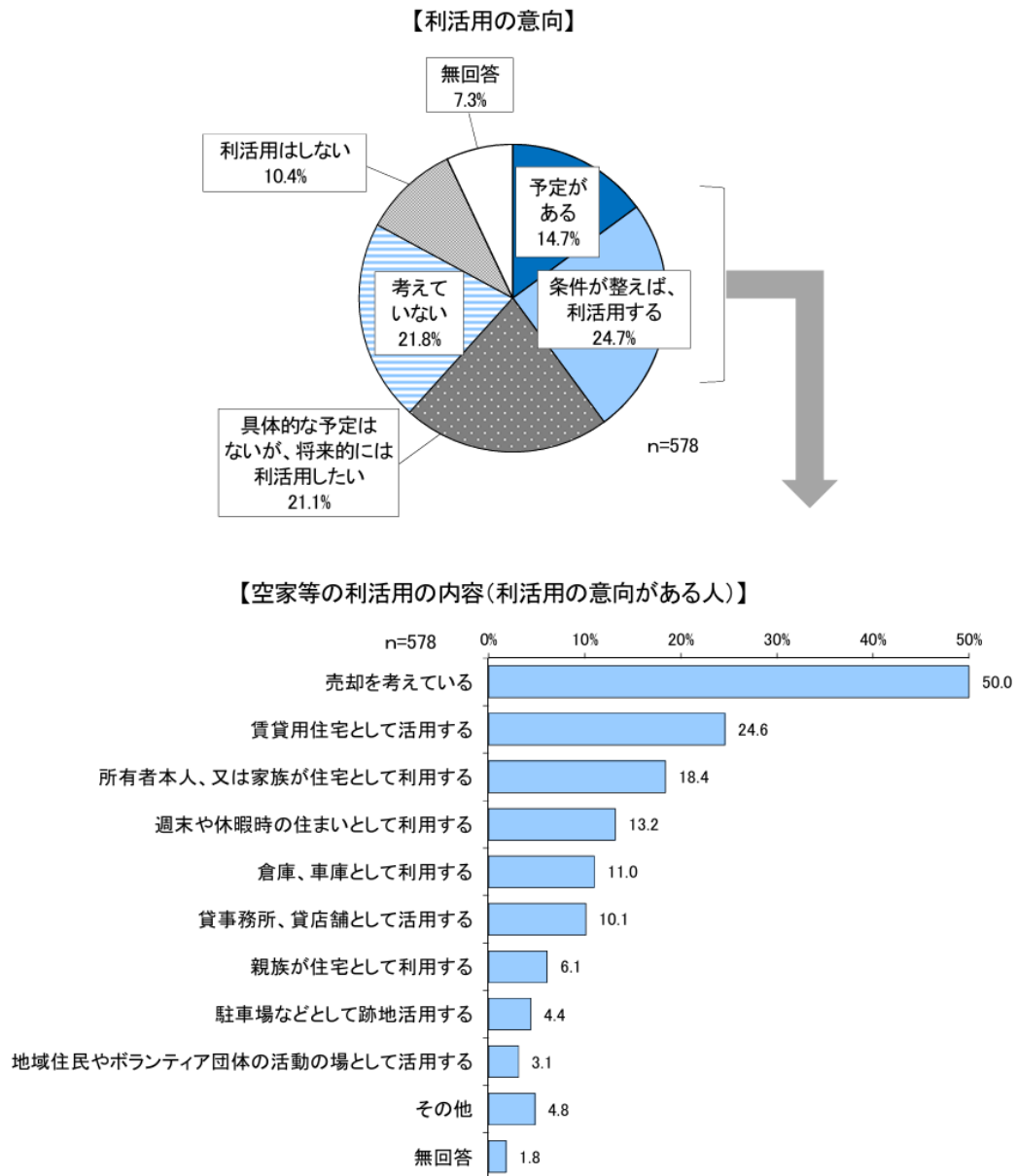
出典：パーソナル研究所 第9回・テレワークに関する調査

<https://rc.persol-group.co.jp/news/202408221000.html>

図表 5 - 1 はオートキャンプ参加人口の推移を示したものである。2020 年から 2024 年までのテレワーク率である。コロナ期を経てもなお、テレワークは一定に実施されている。子どものいる家族でもテレワークをしながら、のびのびした環境で育児をすることが可能である。よって、ワーケーション×保育園留学が第三の空間になると定義し、家族へサードプレスの確保に繋がると推測ができる。また、このように家族でワーケーションを行える魅力が子育てに良いまちという印象に繋がるきっかけを作り、シティプロモーション効果が発生されると考察する。

(2) 空き家バンクの活用

図表 5 - 2 空き家利活用の意向、空き家等の利活用の内容



出典：津山市空き家等対策計画

<https://www3.nhk.or.jp/sapporo-news/20240909/7000069716.html>

図表 5 - 2 は空き家の利活用のグラフと空き家などの利活用の内容である。上のグラフから「利活用する予定がある」、「条件が合えば利活用する」という前向きに考える人々は4割近くを占めている。また、その半数が「売却を考えている」と答えているため、津山市が積極的に中間管理住宅を担い、空き家所有者に使い道を提供することで、空き家が古くなり放置されるのを抑制できると考察する。

(3) スローライフの実現

津山で、スローライフの実現が可能となる。例えば、親子での自然休暇である。津山市には、加茂地域を含め、いくつかキャンプ場がある。例えば、きれいな水 100 選に登録されている加茂地域の水を使った料理や、あまごのつかみ取りなど、津山ならではの自然ライフを満喫できる。次に地域の事業と連携した暮らし体験である。農業や田んぼがあり、植えつけや収穫体験ができる。最後に四季を存分に感じられる点である。都心ではなかなかできない、真っ白な雪で雪合戦ができ、自然を走り回り、地域の方々と挨拶を交わす大切さも学べるのも魅力である。また、住民にとっても、地域外の人との交流を通して、このような地域の魅力を再発見でき、シビックプライドにもつながると推察する。

(4) 地域経済効果と持続性

経済効果と持続性につながる。まず、経済効果を厚沢部町の例から見ると平均滞在の数が最も多いのは 2 週間で、半数を占めている。また 2 週間以上の滞在であれば、地域アクティビティや少し足を伸ばした観光を行なえる。そのため、通貨の流動が大きくなり、地元に通貨が落とされ、景気上昇につながる。

次に、持続可能性についてです。持続可能な事業運営を行えるように、既存施設の活用（保育園や空き家を使った移住体験施設など）することで、多額の初期費用を伴わずに取り組むことが可能となる。

このように、保育園留学とワーケーションを組み合わせることで、駒ヶ根市の人口減少、コミュニティ低下といった課題を解決できる。

6. 資金の運用

資金運用として過疎債の利用を挙げる。まず過疎債についての説明をする。過疎債とは返済時に、地方交付税で国が 7 割を肩代わりし、自治体の債務を軽減する仕組みである。現在、過疎債の使用用途が限られていますが今後は、用途の拡大が検討されている。加茂地域は過疎地域と指定されているため、加茂地域の費用負担を軽減することができる。例えばそこに、空き家、保育園留学の過疎債の枠を作ることによって、資金の運用が可能になる。

7. おわりに

ここまで、地方での空き家の成功例、津山市が保育園留学やワーケーションが適していると述べてきた。地域住民が定期的に利用できるほか、都心から津山市に利用者を誘致できる保育園留学にワーケーション施設を併設することは、津山市の関係人口創出に適しているといえる。加茂町で実行されれば、それを先行事例として津山市全体に拡大していける可能性がある。津山ならではの環境で、スローライフやワーケーションをしながら、中間管理住宅地を活用して、家族でのサードスペースを提供する。

今後の私たちの課題は、保育園留学だけではまかなえない兄弟のいる家族があるので、小学校留学の展開をしたデュアルスクールについて研究を進めていく。また、津山市にはパートナーシップがあるので、この中間管理住宅をつかったリモートワークの福利厚生を使用した連携を提案できないか研究中である。当ゼミは今後も研究活動が続けていく。

〈参考文献〉

- ・都市データパック 2024 東洋経済
- ・総務省 報道資料
[令 5 年住宅・土地統計調査 住宅数概数集計（速報集計）結果](#)
- ・政府統計の総合窓口

<https://www.e-stat.go.jp/regional-statistics/ssdsview/municipality>

- 岡山県 おかやま元気！集落一覧
https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/725655_8642619_misc.pdf
- 岡山県 津山市の人口及び世帯数（住民基本台帳による）
https://tsuyama-group.dataeye.jp/resource_download/9920
- 岡山県 市町村空き家対策モデル地区事
https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/820951_7743586_misc.pdf
- NHK 移住体験用の住宅確保で東川町が導入の「中間管理住宅」とは
<https://www3.nhk.or.jp/sapporo-news/20240909/7000069716.html>
- キッチハイク 保育園留学利用動向
<https://kitchhike.jp/news/6mVtD4VM>
- パーソナル研究所 第9回・テレワークに関する調査
<https://rc.persol-group.co.jp/news/202408221000.html>
- 津山市 津山市空き家等対策計画
<https://www3.nhk.or.jp/sapporo-news/20240909/7000069716.html>
- 水の都 100 選
<https://www.mlit.go.jp/tochimizushigen/mizsei/mizusato/shichoson/chugoku/kamo.htm#>